

議 第 1 号

令和 8 年度フィーダー計画の変更申請について

まめバス「草津駅医大線」のルート、停留所の変更について、草津市地域公共交通
活性化再生協議会規約第 18 条第 5 号の規定に基づき、承認を求める。

上記の議案を提出する。

令和 7 年 11 月 18 日

草津市地域公共交通活性化再生協議会

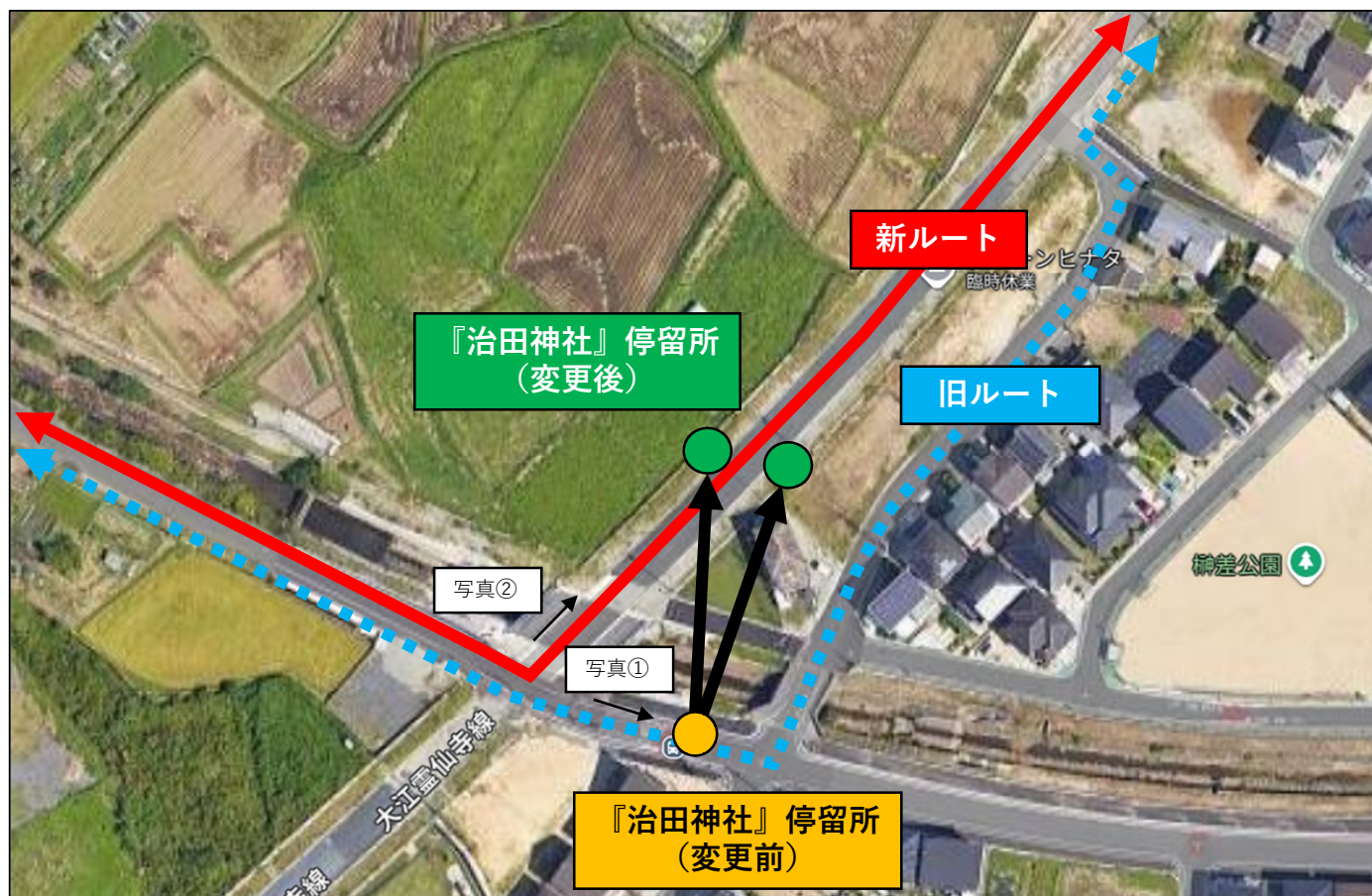
会長 塚口 博司

まめバス「草津駅医大線」のルート、停留所の変更について

まめバス「草津駅医大線」は、新たに都市計画道路大江霊仙寺線が供用開始したことから、『治田神社』停留所の移設および運行ルートを変更します。

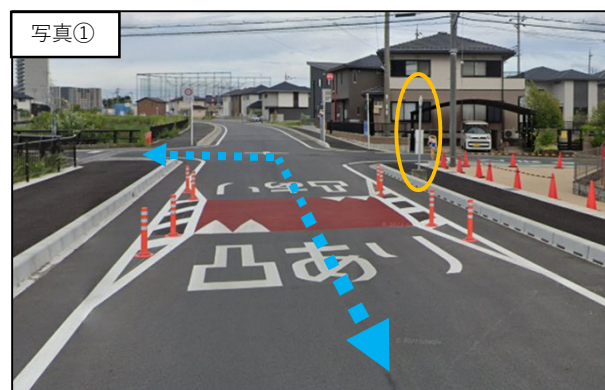
なお、運行ルート変更に伴う運行時間への影響はありません。

【位置図】



【停留所変更】

変更前（旧ルート）

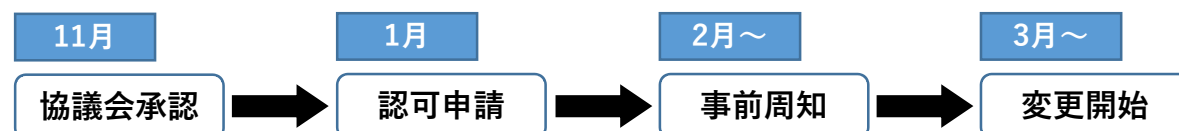


変更後（新ルート）



・車道幅員が広く通過車両への影響が少ない

【スケジュール】



位置図



国土交通大臣 様

氏名又は名称 草津市地域公共交通活性化再生協議会
住 所 草津市草津 3 丁目 13 番 30 号
代 表 者 氏 名 会長 塚口 博司

地域公共交通計画変更届出書

令和 7 年 9 月 2 5 日付け国総地第 1 4 4 号で国土交通大臣より認定された地域公共交通計画を以下のとおり変更するので、関係書類を添えて届出します。

○ 変更日

令和 8 年 3 月 1 日

○ 変更箇所

草津市コミュニティバス「まめバス・草津駅医大線」における『治田神社』停留所のルートおよび停留所の位置

○ 変更理由

都市計画道路「大江霊仙寺線」の供用開始に伴い、安全性と利便性の向上を目的として、停留所の移設を実施するため

※本届出書に、変更する事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

※「変更理由」は、具体的に記述すること。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

8年度

R9年度～計画期間最終年度については、R8年度事業から運行内容に変更がないため省略

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画運 行回数	利 便 増 進 特 例 措 置	運 送 継 続 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ホで該 当する要件 (別表7のみ)
草津市 栗東市 守山市	近江鉄道(株)	(1) 大宝循環線	草津駅 西口	栗東駅 西口	守山駅 西口	往14.5km 復14.5km	291日	1455.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③
		(2) 宅屋線	草津駅 西口	栗東駅 東口	守山駅 東口	往12.7km 復13.8km	240日	1200.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③
(3) 笠縫東常盤線 (右回り)		草津駅 西口	常盤まち づくりセ ンター	草津駅 西口	往13.9km 循環	291日	873.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(4) 笠縫東常盤線 (左回り)		草津駅 西口	常盤まち づくりセ ンター	草津駅 西口	往13.9km 循環	291日	873.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(5) 山田線 (右回り)		草津駅 西口	北山田 浜	草津駅 西口	往12.9km 循環	291日	1404.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(6) 山田線 (右回り・短縮)		木ノ川	北山田 浜	草津駅 西口	往9.5km	291日	145.5回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(7) 山田線 (左回り)		草津駅 西口	北山田 浜	草津駅 西口	往12.9km 循環	291日	1404.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(8) 山田線 (左回り・短縮)		草津駅 西口	北山田 浜	木ノ川	往9.5km	291日	145.5回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(9) 上笠平井循環線 (右回り)		草津駅 西口	上笠郵 便局	草津駅 西口	往7.2km 循環	291日	582.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(10) 上笠平井循環線 (左回り)		草津駅 西口	上笠郵 便局	草津駅 西口	往7.2km 循環	291日	582.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
(11) 草津駅下笠線		草津駅 西口	老杉神 社前	草津駅 西口	往11.5km 循環	291日	1455.回			路線定期運行	①	草津駅西口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③	
草津市	帝産湖南交通(株)	(12) 商店街循環線	草津駅 東口	草津宿 本陣	草津駅 東口	往4.8km 循環	291日	3237.回			路線定期運行	①	草津駅東口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③
		(13) 草津駅医大線	草津駅 東口	南草津 駅西口	大学 病院	往15.9km 復 15.0km	291日	2655.回			路線定期運行	①	草津駅東口にて、 補助対象地域間幹線系 統近江大橋線と接続	③

令和 7 年 1 1 月 1 8 日

（名称）草津市地域公共交通活性化再生協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>（目的）</p> <p>草津市の課題である人口集中地区以外の地域における生活交通の確保などを目的として、地域幹線である近江大橋線（近江鉄道）を基幹軸にコミュニティバス「まめバス」、「草津・栗東・守山くるっとバス」、近江鉄道「上笠平井循環線」を運行する。</p> <p>（必要性）</p> <p>草津市内では、現在、民間バス事業者3社により路線バスが運行されているが、自家用車の普及、昨今の原油価格・物価高騰や運転手不足（2024年問題）も影響し、今後、便数の削減や路線の廃止などサービス水準の低下が懸念される。</p> <p>一方、草津市では高齢化が進展しており、自家用車の運転が困難な高齢者や障害者等の移動手段として、バス交通の重要性が高まっており、利用者数は今後増加していくことが予想される。</p> <p>また、草津市内には、路線バスが運行していない、または運行回数が少ない人口集中地区以外の地域における生活交通の確保が大きな課題となっている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、市民の日常生活における移動手段を確保するため、既存路線の維持や新たな交通手段の導入が必要不可欠となっている。</p>
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
<p>（1）事業の目標</p> <p>地域に愛され地域に根付いたバスとして、市民にとって分かりやすく、地域の一体感、連帯感を強めるため、目標指数を「利用者数」とし、まめバス、草津・栗東・守山くるっとバス、上笠平井循環線の令和 6 年度の年間合計利用者数 170,557 人を上回る利用者数を目指す。</p> <p>また、地域の活力を維持するため、社会的便益を提供する重要なインフラとして、事業の継続が求められるため、幹線系統を含む市の補助路線を令和 6 年度の収支差 94,425 千円以下、財政負担 75,747 千円以下で維持する。</p>
<p>（2）事業の効果</p> <p>バス交通不便地が解消されるとともに、高齢者や障害者等の移動制約者に対する生活交通が確保される。</p> <p>また、中心市街地や市内拠点へのアクセス利便性、既存の路線バスや JR 駅との乗り換え利便性が向上する。</p>
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
<ul style="list-style-type: none">・市内の学校にモビリティマネジメントを実施・主にバス交通不便地における地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスとデマンド型交通などを組み合わせた新たな移動手段の検討・交通系 IC カードを活用したキャッシュレス決済の促進・運行ダイヤや運行状況等を簡単に確認できる検索システムの促進・効率的な路線を実現するため、各停留所のニーズを把握できる乗降システムを運用・コミュニティバスでこども無料乗車実証実験を実施し、公共交通の新規利用者を獲得
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者
「表 1」を添付。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

<p>地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図る路線について、その運行に係る費用総額のうち、市から運行事業者への補助金額については、運行収入および国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。</p> <p>なお、複数市にまたがる系統における各市の費用負担は距離按分で算出する。</p>
<p>6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法</p>
<p>まめバス等の利用者数：運行事業者の実績報告より評価</p> <p>補助路線の収支差：運行事業者の収支報告より評価</p> <p>補助路線の財政負担：市の普通会計決算より評価</p>
<p>7. 別表 1 の補助対象事業の基準木ただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要</p> <p>【地域間幹線系統のみ】</p>
<p>※該当なし</p>
<p>8. 別表 1 の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧</p> <p>【地域間幹線系統のみ】</p>
<p>※該当なし</p>
<p>9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項</p> <p>【地域間幹線系統のみ】</p>
<p>※該当なし</p>
<p>10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要</p> <p>【地域内フィーダー系統のみ】</p>
<p>「表 5」を添付。</p>
<p>11. 車両の取得に係る目的・必要性</p> <p>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</p>
<p>（目的）</p> <p>市民にバスの愛着を持ってもらい、地域で守っていこうとするという意識を育むことが重要であることから、本市コミュニティバス車両を分かりやすく乗りやすい洗練されたマイバス意識の高い乗り物にしていくためにバス車両を更新する。</p> <p>（必要性）</p> <p>市民に末永く暮らしていただく公共交通環境の整備を図っていくため、古くなったバス車両を一新し、市民に安心感を与えながら持続的な運行を行っていく必要があるため。</p>
<p>12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果</p> <p>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</p>
<p>（1）事業の目標</p> <p>地域に愛され地域に根付いたバスとして、市民にとって分かりやすく、地域の一体感、連帯感を強めるため、目標指数を「利用者数」とし、まめバス、草津・栗東・守山くるっとバス、上笠平井循環線の令和 6 年度の年間合計利用者数 160,135 人を上回る利用者数を目指す。</p> <p>また、地域の活力を維持するため、社会的便益を提供する重要なインフラとして、事業の継続が求められるため、幹線系統を含む市の補助路線を令和 6 年度の収支差 94,425 千円以下、財政負担 75,747 千円以下で維持する。</p>
<p>（2）事業の効果</p>

古くなった車両の故障等による代替車両での対応の際に生じる満車による積み残しの発生や、普段の車両とは異なるタイプの車両運行による利用者の戸惑いを防ぐことができ、新しい車両で運行することで、利用者が快適に利用できる。

13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

「表 6」を添付。

なお、草津市から運行事業者への補助金額については、国庫補助金を差し引いた差額分を負担することとしている。

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

（１）事業の目標

※該当なし

（２）事業の効果

※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

（直近 3 年の開催状況）

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ・ 令和 4 年 5 月 30 日 | 地域内フィーダー系統確保維持計画について協議 |
| ・ 令和 4 年 9 月 2 日 | 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更内容について協議 |
| ・ 令和 5 年 2 月 22 日 | 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更内容について協議 |
| ・ 令和 5 年 6 月 7 日 | 地域内フィーダー系統確保維持計画について協議 |
| ・ 令和 5 年 7 月 28 日 | 地域公共交通計画の策定について協議 |
| ・ 令和 5 年 10 月 25 日 | 地域公共交通計画の策定について協議 |
| ・ 令和 5 年 12 月 7 日 | 地域公共交通計画の策定について協議 |
| ・ 令和 6 年 1 月 29 日 | 地域公共交通計画の策定について協議 |
| ・ 令和 6 年 2 月 21 日 | 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更内容について協議 |
| | ※書面開催 |
| ・ 令和 6 年 6 月 14 日 | 地域公共交通計画認定申請の内容について協議 |
| ・ 令和 6 年 8 月 28 日 | 地域公共交通計画における各施策の取組予定について協議 |
| ・ 令和 6 年 10 月 31 日 | 民間送迎バスを活用した補助的交通の実証運行について協議 |
| ・ 令和 7 年 1 月 17 日 | 民間送迎バスを活用した補助的交通の実証運行について協議 |
| ・ 令和 7 年 5 月 29 日 | 地域公共交通計画認定申請の内容について協議 |
| ・ 令和 7 年 11 月 18 日 | 令和 8 年度フィーダー計画の変更申請について協議 |

19. 利用者等の意見の反映状況

市民アンケート調査及び利用者アンケート調査や地域住民とのワークショップにより市民の意見収集を図ったほか、本計画について住民代表を含む法定協議会で協議を行い、利用者等の意見を反映した。
今後もアンケートやワークショップなどを通して利用者のニーズ把握に努める。

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号

（所 属）草津市役所 都市計画部 交通政策課

（氏 名）南部 慶道

（電 話）077-561-2343

（e-mail）kotsu@city.kusatsu.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記 2.・3. については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

帝湖交業発第 ●● 号
令和 7 年 ●● 月 ●● 日

近畿運輸局長 殿

住 所 滋賀県草津市山寺町 1 8 8 番地
氏名又は名称 帝産湖南交通株式会社
代表者氏名 代表取締役 牧村 善進
連絡先 電話 077-562-3020

一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請書及び運行計画設定届出書
(路線の延長並びに運行系統の廃止及び新設)

この度、一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画及び運行計画を設定したいので、道路運送法第 1 5 条第 1 項、第 1 5 条の 3 第 1 項及び同法施行規則第 1 4 条、第 1 5 条の 1 3 の規定に基づいて下記のとおり申請いたします。

記

1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

住 所 滋賀県草津市山寺町 1 8 8 番地
氏名又は名称 帝産湖南交通株式会社
代 表 者 名 代表取締役 牧村 善進

2. 事業の種別

一般乗合旅客自動車運送事業

3. 変更する事業計画 等

路線、停留所の名称及び位置並びに停留所間のキロ程、運行計画等に関する事項
移設する停留所付近の状況を示した書面
(別紙①～⑥のとおり)

4. 運行を予定する日

令和8年3月1日

5. 申請理由

今現在使用している停留所前に減速ハンプが設置されており、乗降扱いが出来ない為安全な
場所で乗降して頂けるよう運行経路を変更しバス停を移動したく申請に及びます。

6. 添付書類

- (1) 延長路線図
- (2) 運行系統図
- (3) 道路運送法に基づく協議が整っていることの証明書

事業計画書

1 延長しようとする路線に関する事項

起点	A 滋賀県草津市南草津5丁目7-3地先
終点	B 滋賀県草津市南草津プリムタウン2丁目地先
キロ程	800m
主たる経由地	
路線名	草津市道 野路南東西線

各路線に配置する事業用自動車のうち、長さ、幅、高さ又は車両総重量が最大であるものの
当該長さ、幅、高さ又は重量

長さ	幅	高さ	車両総重量
699cm	201cm	264cm	5645kg

停留所の名称および位置ならびにキロ程

1. 草津医大線(草津駅～南草津駅～大学病院)既設系統

停留所名		位 置	キロ程		備 考
草津駅東口		(既設)	(往路)	(復路)	
アーバンホテル草津	大路	(既設)	0.40	0.30	
			0.20		
九谷医院前	国道草津	(既設)	0.10	0.30	
タワー111		(既設)	0.20		
小汐井神社		(既設)	0.20		
新屋敷		(既設)	0.30		
草津川橋		(既設)	0.30	0.30	
草津一丁目		(既設)	0.20	0.20	
本陣東口		(既設)	0.20	0.20	
JA草津支店		(既設)	0.30	0.30	
草津市役所		(既設)	0.30	0.40	
草津三丁目		(既設)	0.10	0.40	
立木神社		(既設)	0.40	0.10	
宮町会館		(既設)	0.30	0.20	
南平公園前		(既設)	0.10	0.30	
矢倉一丁目		(既設)	0.60	0.40	
矢倉会館		(既設)	0.70	0.30	
大塚団地		(既設)	0.30	0.30	
光泉高校		(既設)	0.20	0.20	
片原公園前		(既設)	0.30	0.30	
川ノ下中央		(既設)	0.50	0.50	
南草津駅西口		(既設)	0.50	0.50	
川ノ下中央		(既設)	0.30	0.30	
フレンドマート南草津店前		(既設)	0.30	0.30	
老上まちづくりセンター		(既設)	0.50	0.50	
治田神社		(既設)	0.60	0.60	
開華		(既設)	0.60	0.60	
笠堂公園		(既設)	0.70	0.70	
南笠公民館		(既設)	0.40	0.40	
国道南笠		(既設)	0.20	0.20	
南笠東三丁目		(既設)	0.30	0.40	
わおんの広場		(既設)	0.20	0.20	
南笠東まちづくりセンター		(既設)	0.40	0.30	
狼川		(既設)	0.20	0.20	
南笠東小学校		(既設)	0.30	0.30	
笠山ふれあい広場		(既設)	0.30	0.30	
あゆみの広場		(既設)	0.10	0.10	
笠山神社		(既設)	0.30	0.30	
笠山たんぽぽ公園		(既設)	0.20	0.20	
笠山六丁目		(既設)	0.40	0.40	
びわ湖レストタウン		(既設)	0.50	0.50	
長寿社会福祉センター		(既設)	1.20	1.10	
草津養護学校		(既設)	0.50	0.60	
県立総合福祉センター		(既設)	0.80	0.80	
大学病院		(既設)			
計			16.00	15.10	

停留所の名称および位置ならびにキロ程

1. 草津医大線(草津駅～南草津駅～大学病院)既設系統

停留所名		位 置	キロ程		備 考
草津駅東口		(既設)	(往路)	(復路)	
アーバンホテル草津		(既設)	0.40	0.30	
大路		(既設)	0.20		
九谷医院前		(既設)	0.10	0.30	
タワー111		(既設)	0.20		
小汐井神社		(既設)	0.20		
新屋敷		(既設)	0.30	0.30	
草津川橋		(既設)	0.30	0.30	
草津一丁目		(既設)	0.20	0.20	
本陣東口		(既設)	0.20	0.20	
JA草津支店		(既設)	0.30	0.30	
草津市役所		(既設)	0.30	0.40	
草津三丁目		(既設)	0.10	0.40	
立木神社		(既設)	0.40	0.10	
宮町会館		(既設)	0.30	0.20	
南平公園前		(既設)	0.10	0.30	
矢倉一丁目		(既設)	0.60	0.40	
矢倉会館		(既設)	0.70	0.30	
大塚団地		(既設)	0.30	0.30	
光泉高校		(既設)	0.20	0.20	
片原公園前		(既設)	0.30	0.30	
川ノ下中央		(既設)	0.50	0.50	
南草津駅西口		(既設)	0.50	0.50	
川ノ下中央		(既設)	0.30	0.30	
フレンドマート南草津店前		(既設)	0.30	0.30	
老上まちづくりセンター		(既設)	0.40	0.40	
治田神社		(既設)	0.60	0.60	
開華		(既設)	0.60	0.60	
笠堂公園		(既設)	0.70	0.70	
南笠公民館		(既設)	0.40	0.40	
国道南笠		(既設)	0.20	0.20	
南笠東三丁目		(既設)	0.30	0.40	
わおんの広場		(既設)	0.20	0.20	
南笠東まちづくりセンター		(既設)	0.40	0.30	
狼川		(既設)	0.20	0.20	
南笠東小学校		(既設)	0.30	0.30	
笠山ふれあい広場		(既設)	0.30	0.30	
あゆみの広場		(既設)	0.10	0.10	
笠山神社		(既設)	0.30	0.30	
笠山たんぽぽ公園		(既設)	0.20	0.20	
笠山六丁目		(既設)	0.40	0.40	
びわ湖レストタウン		(既設)	0.50	0.50	
長寿社会福祉センター		(既設)	1.20	1.10	
草津養護学校		(既設)	0.50	0.60	
県立総合福祉センター		(既設)	0.80	0.80	
大学病院		(既設)			
計			15.90	15.00	

運行計画概要書

1	草津医大線線	起点 草津駅（経過地） 南草津駅西口、びわ湖レストタウン 終点 大学病院
	届出内容	運行系統の新設
2	草津医大線線	起点 草津駅（経過地） 南草津駅西口、びわ湖レストタウン 終点 大学病院
	届出内容	運行系統の廃止
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

別紙⑤-1

1. 運行系統名

1. 草津医大線(南草津駅西口～びわ湖レストタウン～大学病院)

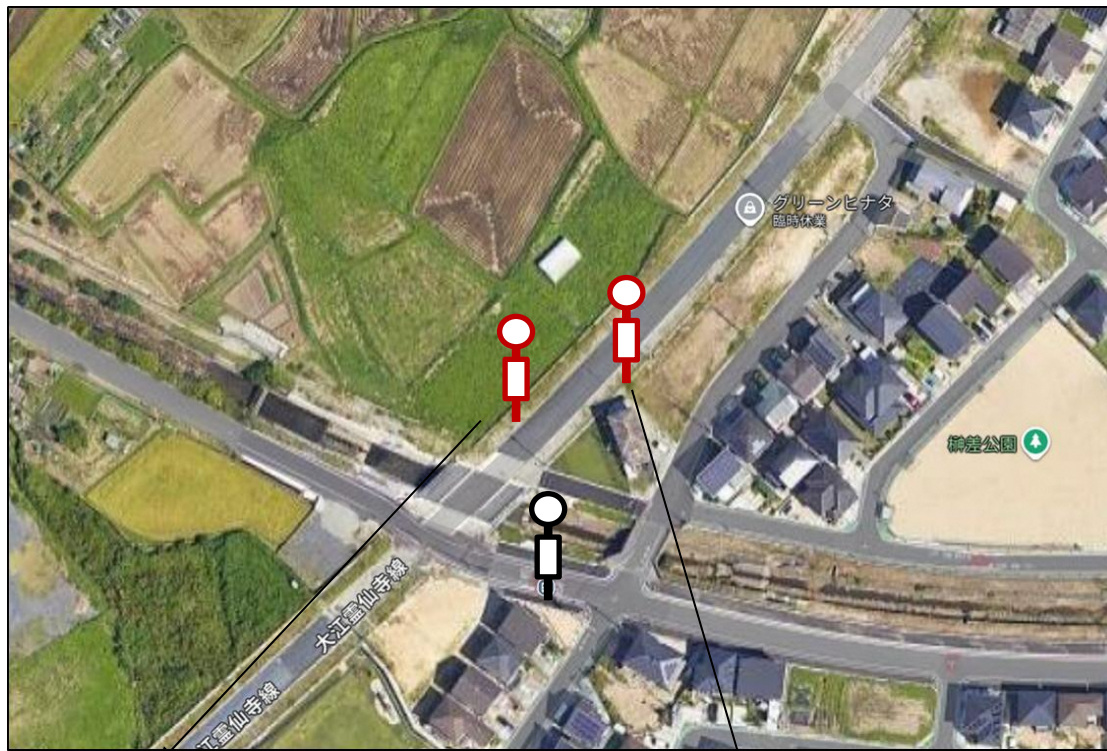
2. 運行系統ごとに地方運輸局長が指定する時間帯ごとの運行回数並びに始発及び終発時刻

期間・曜日等		指定時間帯／運行回数					始発時刻	終発時刻
4月1日～ 3月31日 ※年末年始運休 (12/29～1/3) 新 計画	平日	7時台～ 9時台	10時台～ 15時台	16時台～ 20時台	21時台～ 翌日6時台	合計		
		2回 2回	4回 4回	3回 3回	1回 1回	10回 10回	6:40 6:30	19:10 19:10
	土曜日	7時台～ 9時台	10時台～ 16時台	17時台～ 20時台	21時台～ 翌日6時台	合計		
		1回 1回	3回 4回	1回		5回 5回	6:40 6:30	19:10 19:10
	日祭日	7時台～ 9時台	10時台～ 16時台	17時台～ 20時台	21時台～ 翌日6時台	合計		
4月1日～ 3月31日 ※年末年始運休 (12/29～1/3) 旧 計画	平日	7時台～ 9時台	10時台～ 15時台	16時台～ 20時台	21時台～ 翌日6時台	合計		
		2回 2回	4回 4回	3回 3回	1回 1回	10回 10回	6:40 6:30	19:10 19:10
	土曜日	7時台～ 9時台	10時台～ 16時台	17時台～ 20時台	21時台～ 翌日6時台	合計		
		1回 1回	3回 4回	1回		5回 5回	6:40 6:30	19:10 19:10
	日祭日	7時台～ 9時台	10時台～ 16時台	17時台～ 20時台	21時台～ 翌日6時台	合計		

移設する停留所付近の状況を示した書面

停留所の名称	治田神社		
停留所の位置	【既設】 滋賀県草津市南草津プリムタウン2丁目地先	【新設】 滋賀県草津市南草津5丁目7-3地先	【公道外・道路外】

付近の概略(バス停位置拡大地図、停留所付近の写真等)



新 治田神社バス停

廃止 治田神社バス停